



# 教祖140年祭

If you do not follow the path of the Divine Model, there is no need for a Divine Model... There is no path but the path of the Divine Model.

Osashizu, November 7, 1889

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略) ひながたの道より道が無いで。  
(おさしづ 明治22年11月7日)

ちよう  
蝶や  
はな  
と  
か  
ら  
い  
も  
も

こころ  
息  
一  
ひと

すじ  
筋  
が  
蝶  
や  
花  
に

おさしづに「蝶や花と言うも息一筋が蝶や花である。(明治27年3月18日)」と教えられます。蝶や花は色鮮やかで、私たちの目を楽しませ、心を安らかにしてくれるものです。また、ことわざで「蝶よ花よ」とは、親が子供をこの上なく可愛がり、大切に育てるさまをいいます。その大切な蝶や花も、息をしなければ数分間も生きていくことはできません。人間をはじめ動物は息をしながら、酸素を取り入れ二酸化炭素を出します。植物は反

対に光合成によって二酸化炭素を取り入れ酸素を出します。空気中に約21%含まれる酸素は、無色無味無臭ながら生き物の生命維持に不可欠な役割を果たしています。私たちは日常生活において意識することなく呼吸しています。眠っているときも休みなく息ができるのは、親神様からのかりもの世界に生かされているからです。蝶よ花よと愛でる世界は親神様のお働きがあつてこそ。私たちは謙虚に、喜びと感謝に気づかせて頂きたいものです。

本島大教会布教部(成)